



シティー通勤者向けの『自在な』オプション

C600SportとC650GTビッグスクーターの発売が間近に迫り、購入を検討している人は、それぞれのニーズ、好みに合わせてどちらの車種を選ぶべきか迷うことだろう。これら2車種は見た目も違えば特性も異なるが、どちらも大容量の収納が装備されているのはありがたい。

大きな荷物を積む、または日常的に長距離を走行する人は、たっぷりの収納スペース、ゆったりしたシート、調節可能なバックレストでタンデム走行も快適なC650GTを選ぶかもしれない。シート下には約60リットルの大型収納の他、テール部分の側面収納と、左右2箇所のフロントボックスが設けられている。

収納面ではC650GTに劣るように見えるC600Sportだが、テール部分に装備されているフレックスケースシステムの革新的なデザインのおかげで、驚くほどの収納力を兼ね備えている。C600Sportの後部はGTに比べて短く、よりスポーティーになっているものの、同乗者用ヘルメットなどを格納する際は、世界初の『フレックスケースシステム(容量可変式の収納)』で対応できる。

この容量可変式収納は、駐車の際に荷物を収容するためのもので、C600Sportのテール部分にフラップが折り込まれている。BMW Motorradが特許を所有するこの高強度ゴム素材は柔らかく、且つ防塵防水。駐車時にヘルメットが2つ格納できるので、ライダーとパッセンジャーはヘルメットを持ち歩くことなく、手ぶらで出かけることができる。

走行中は、このフレックスケースは閉じた状態となるので、フラップは使用不可となるが、それでもシート下にフルヘルメット1個とショッピングバッグなどを入れるスペース

は残る。フレックスケースが開いている時はセーフティー機能が働き、計器パネルに警告サインが出る。

フレックスケースシステムは、C600Sportのスリムな外見とともに、たくさんの荷物を安全にバイクに保管するという選択肢も与えてくれる。フロントには2箇所のグローブボックスもあり、左側のボックスは自動的にロックされるシステムになっている。シート、左フロントボックス、燃料タンク蓋を自動的にロックしてくれるので、とても便利だ。

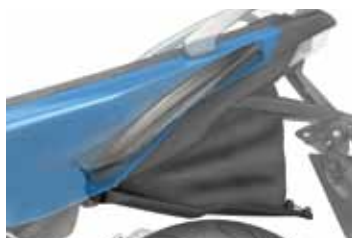
もちろん、さらに荷物を載せたい場合には、どちらの車種も荷物を縛り付けるラックをオプションでつけられるし、あるいはセキュリティ面を強化したい場合は、スペシャルトップケースをつけることもできる。さらに、センターコンソールバッグを装着すれば、さらに12リットルの収納が可能になる。(日本では2012年末導入予定)



C650GTフロントボックス



C650GTシート下大型収納



C600Sportフレックスケースシステム



スペシャルトップケースとセンターコンソールバッグの装着例